

111

contents

コレクション展
運慶流
年間スケジュール

天花
TENGE
花



雲谷等益 「瀟湘八景図屏風」(右隻) 山口県立美術館蔵

コレクション展

展示室A 小林和作室

雲谷派②

10/28 tue ~ 11/24 mon

表紙作品解説

うんこくとうえき しょうしやうはっけいびやうぶ
雲谷等益 「瀟湘八景図屏風」紙本墨画淡彩 六曲屏風 一双 各155.5×354.0cm
山口県立美術館蔵

図版では小さくてよく分からないと思いますが(すみません)、画面右端後方の、向こう岸に遠く眺められた山並みの部分、その山裾の汀は定規を使って直線が引かれています。水墨画で直線を引くのに定規を使うことは古くから行われていますが、それは家屋のような建築物などの人工物を描く際の技法で、汀のような自然に対して定規を使うことは異例です。透明感のある薄い墨で描かれた山肌と、定規で引かれた汀の直線とがあいまって、静謐で非現実的な、不思議な景色がそこに現れています。

等益が活躍した寛永年間(1624-1644)は、狩野探幽のような画家たちが中国の宋元画や雪舟画に学んで生み出した瀟洒淡泊な画風が流行し、また「幾何学的」とも評される整理された構図の作品が好まれた時代でした。等益もこのような時代の美意識に敏感に反応しながら、狂うことのない正確なリズムを感じさせる形を持つモチーフを画面に几帳面に配置した、独自の山水画風を作り上げました。定規を使って引かれた汀の直線は、几帳面さ、正確さといった等益画風の特徴を端的に示しています。

ところで、エキセントリックな画風で有名な江戸中期の画家・曾我蕭白の山水図には、定規で引かれた汀の直線こそ見られないものの、等益画から学んだと思われる表現が少なくありません。等益と蕭白という意外な組み合わせかもしれませんが、こんな影響関係が想像できるところが歴史の面白さです。

(当館学芸員 荏開津通彦)

流」とは、運慶(?~1225)によって作られた運慶流仏像(22体)を含む仏像28件

▼1255年頃
3世代重要文化財
運慶作
狛犬
225年頃
高松寺重要文化財
愛宕
1275年(京)こうえん
康円
1207~?運慶の
を継承
継者と
躍した。畿内(近畿)の
品が残
来後の
躍が目
式に新
式を加
仏像を湛康作 持国
1294年(佐藤)

展示室A

小林和作室

「雲谷派②」 10/28-11/24

「雲谷派③」 11/26-12/21

当館では、コレクション展示室において、桃山時代から幕末にいたるまで山口の地で雪舟流を継承した雲谷派の作品をシリーズでご紹介しております。

「雲谷派②」では、初代である等顔(1547-1618)の跡を継いで江戸時代初期に活躍した雲谷等益(1591-1644)の作品をご紹介します。等益は山口に残されていた雪舟の作品を熱心に研究したうえで、独特のリズム感を示すモチーフを画面に整然と配置した、端正な画風を生み出しました。この展示では、その代表作「瀟湘八景図屏風」などの等益画をご覧ください。

「雲谷派③」では、等益の長男と二男である等興(1612-68)、等爾(1615-71)の作品を中心にご紹介します。彼らは父である等益の画風を受け継ぎながらも新たな時代の流行を取り入れ、またさまざまな他流派の画家たちの作品からも学んで雲谷派の画風の幅を広げました。雪舟流を守りながらも、それぞれ個性的な画風を展開した雲谷派の画家たちの作品をお楽しみください。

雲谷等興「布袋図」
山口県立美術館蔵雲谷等爾「雪景山水図」
山口県立美術館蔵

2009年おすすめコレクション展(予告)



高橋由一「動物いろいろ」1877年 山口県立美術館蔵

「動物いろいろ」2009/1/6-3/1

鴨、孔雀、鷹、牛、猿、狐、鹿、熊、魚…。作品の中にあらわれた動物を集めて小さな展覧会を開きます。美術がどのように動物をとらえてきたのか、当館コレクションでお楽しみください。

運慶流

鎌倉・南北朝の仏像と蒙古襲来

文永十一年(1274)と弘安四年(1281)の二度にわたる蒙古襲来(元寇)は、有史以来未曾有の国家危機として日本全体を揺るがしました。この蒙古襲来を契機に、歴史の歯車は大きく動いていきます。九州を中心とした西国では、異国退散祈願のための寺院が建立され、仏教美術に新風が吹きこまれました。仏像を制作したのは、運慶の流れをくむ「運慶流」の仏師たち。運慶が作り出した力強い迫力のある様式が、災いを退け平安をもたらす仏の姿として求められたのです。

この展覧会では、蒙古襲来から南北朝へと続く争乱と混迷の時代に、人々の祈りを託された「運慶流」の美を紹介いたします。

2008年11月11日(火)～12月21日(日)

【開館時間】 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 【休館日】 月曜日(ただし11月24日は開館、11月25日は休館)
 ◎夜間特別開館 11月21日(金)～23日(日)は20:00まで開館(入館は19:30まで)
 【観覧料】 一般1,000円(800円) 学生800円(600円)
 ()内は前売り、および20名以上の団体料金
 18歳以下、70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料
 前売り券は、ローソンチケット(Lコード:61884)および県内各プレイガイドでお求め下さい。
 プレイガイドの詳細は、展覧会WEBサイトにてご確認ください。

【主催】山口県立美術館 NHK山口放送局 読売新聞西部本社 KRY山口放送
 【特別協力】エフエム山口
<http://www.yma-p.jp>

運慶之一流 — 初代から六代

「運慶流」とは、運明らかになってき10件(22体)を含

運慶流仏師世代図

時期▼1150年頃
 世代 |

▼1175年頃
 | 1世代

▼1225年頃
 | 2世代

▼1255年頃
 | 3世代

運慶の父。写実的で、存在感のある新しい様式で運慶流の先駆となった。



重要文化財 康慶作
 地藏菩薩像
 1177年(静岡・瑞林寺)

こうけい
康慶
 生没年不詳

運慶の長男。運慶流を鎌倉時代の主流に押し上げた。



重要文化財
 湛慶作
 狛犬
 1225年
 (京都・高山寺)

たんけい
湛慶
 1173～1256

うんけい
運慶
 ?～1223

鎌倉時代の幕開けとともに活躍。力強くみずみずしい鎌倉様式を完成させた。仏師の祖として後世まで仰がれる。



重要文化財 運慶作
 大日如来像
 12世紀末(栃木・光得寺)☆



こうえん
康円
 1207～?

慶(?~1223)に始まる仏師一門のことで、展覧会では近年の研究によってた運慶流仏師の系譜を、運慶の父康慶から六代目康俊の世代まで、重要文化財む仏像28件(49体)によって紹介します。

▼1280年頃
4世代



重要文化財 康円作
愛染明王像
1275年(京都・神護寺)☆

運慶の様式を継承し、後継者として活躍した。

▼1315年頃
5世代



康晝作 如意輪観音像
1340年(福岡・大興善寺)

お家騒動を経て運慶流最高実力者の地位につき、運慶五代を名乗る。運慶様式を取り入れたくせのある作風が特徴。

▼1335年頃
6世代



康俊(東寺大仏師)作
金剛薩埵像
1359年(兵庫・円教寺)

当初、康晝と対立して同時代に運慶五代を名乗る。後に和親し康晝の姪子となつたらしく運慶六代を名乗る。装飾的で端正な作風が特徴。

円慶

たんこう
湛康
生没年不詳

湛譽
湛真
湛雅

こうよ
康誉
生没年不詳

康尊

こうしゅん・なんとだいぶつし
康俊(南都大仏師)
?~1357以前

こうしゅん・とうじだいぶつし
康俊(東寺大仏師)
生没年不詳

畿内(関西)にも作品が残るが、蒙古襲来後の九州での活躍が目立つ。運慶様式に新来の中国様式を加えた力強い仏像を制作した。

湛康作 持国天像
1294年(佐賀・円通寺)

重要文化財 康俊(南都大仏師)作
普賢延命菩薩像
1326年(佐賀・龍田寺)



奈良を拠点として活躍した。運慶様式を継承した濃厚な作風が特徴。東寺大仏師を名乗る康俊とは別人。

☆写真提供:東京国立博物館, Image:TNM Image Archives Source:http://TnmArchives.jp

■記念講演会

「運慶にであう」

11月24日(月・祝) 14:00~

[会場] 山口県立山口図書館 レクチャールーム

[講師] 山本勉(清泉女子大学教授)

[定員] 200名(先着順) 無料

「鎌倉・南北朝時代の仏像」

11月15日(土) 14:00~

[会場] 美術館講座室

[講師] 岩井共二(山口県立美術館学芸員)

[定員] 80名(先着順) 無料

■ワークショップ

「ほとけさまのファッション」

ほとけさまのファッションを追体験。仏像の見方も変わります。

11月15日(土)、12月6日(土) 10:00~11:30

[会場] 美術館講座室

[講師] 岩井共二(山口県立美術館学芸員)、水谷由美子(山口県立大学教授)

[対象] 小学生(4年生以上) 親子での参加歓迎

[定員] 各回とも10組

[協力] 山口県立大学国際文化学部文化創造学科、衣造形研究室

[申込] 往復ハガキまたはE-mailに参加希望日、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。

■学芸員によるギャラリー・トーク

11月22日(土)、29日(土)、12月13日(土)、20日(土) 10:00~

◎夜間特別開館日 11月21日(金)、22日(土)、23日(日) 18:00~

■子供のためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」

美術館ボランティアがご案内します。

会期中毎週土曜日 11:00~(30分程度)

■託児サービス ちびっこルーム

会期中毎週木曜日 10:00~13:00

[場所] 美術館講座室

利用する週の月曜日までに電話、またはE-mailで下記までお申し込みください。

お申し込み、お問い合わせ先

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館

tel:083-925-7788 E-mail:a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

2008-2009

特別展

schedule

山口県立美術館 平成20年度年間スケジュール

コレクション展

4	4/17~5/25 いわさきちひろ展 ようこそ!ちひろの家へ
5	5/30~6/8 第31回山口伝統工芸展
6	6/21~7/13 コレクション展特別企画 殿敷侃 一赤と篇の記書一
7	7/30~9/21 美がよすの絆
8	9/21 9/23
9	10/9~10/26 第62回山口県美術展覧会
10	11/11~12/21 運慶流 鎌倉・南北朝の仏像と蒙古襲来

4/8		雲谷派①	
	植木茂 松田正平	5/18 5/20	
		森寛斎	6/3
6/29 7/1		玉村方久斗	6/21 殿敷侃
		7/13	
十二代 三輪休雪	香月泰男 (シベリア・シリーズ)	雪舟 ~大内氏が 育てた画師~	
9/21 9/23			
		松林桂月	
		10/26 10/28	
現代の陶芸	ヌード	雲谷派②	
		11/24 11/26	
		雲谷派③	
12/21			

12/22~1/5 臨時休館

1	
2	2/4~2/8 山口県立大学卒業制作展 2/12~2/15 山口芸術短期大学卒業制作展 2/19~2/22 山口大学卒業制作展
3	

1/6		小林和作の コレクション	動物いろいろ
	金工と 赤間硯	宮崎進	2/22 2/24
			3/1 3/3
		雲谷派④	戦後日本写真入門
4/5			

Information

■休館日
月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)
年末年始(12月28日~1月3日)
展覧会撤去にともなう臨時休館(12月22日~1月5日)

■開館時間
9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金
コレクション展:一般190(160)円 学生120(100)円
()内は20名以上の団体料金
特別展:別途に定めた料金
コレクション展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する方等は無料。

山口県立美術館
YAMAGUCHI PREFECTURAL
ART MUSEUM
〒753-0089
山口市錦山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7790
<http://www.yma-web.jp/>

